

2024年8月1日

立憲民主党

代表 泉 健太 様

憲法・平和・教育を守る
岩手県母と女性教職員の会

要 請 書

日頃より国政において、ご尽力いただいていることに感謝申し上げます。

「母と女性教職員の会」は、子どもたちの幸せを基盤とした平和で民主的な社会の実現をめざし、母親と女性教職員が手をむすび、全国各地の市町村、都道府県で運動を続けております。

1955年から始まった岩手県内での運動は、今年度で69年を迎えました。「わが子、教え子を再び戦場に送るな」をスローガンに掲げ、平和・人権・子どもに関わる課題として、基地や原発の問題、女性差別撤廃、教育予算拡充、学校給食の実現等、これまでに多くの課題について学習を深めてきました。

「子どもたちを守りましょう」「お母さんの体を守りましょう」「憲法を変えさせないようにしましょう」を合言葉に取り組みを続けてきましたが、岸田政権の下、憲法「改正」論議がすすめられています。平和な社会、私たちの願いが損なわれるのではないかと危惧しています。武器輸出や軍事費増ではなく、福祉や教育の予算拡充を求めます。

今年度、私たちは、9月の東北集会「子どもたちに平和な未来を」をテーマに掲げ、教育や平和等に関する様々な課題について話し合い、行動していくことを確認していきます。

つきましては、この間の運動や各種集会での議論もふまえ、以下のとおり要請事項をまとめましたので、その実現に向けて、国政の場でご尽力いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 教育における自治体間格差を解消し、教育環境整備をすすめるため、教育予算を増額すること。
2. 子どもたちのゆたかな学びと、点数にとらわれず学ぶ意欲や子どもの主体的な学びを重視する教育を保障するために、憲法・子どもの権利条約にもとづき、インクルーシブ教育をはじめ、子どもを主体とした教育をすすめること。
3. 学校現場の働き方改革を推進し、教職員の業務の削減・長時間労働是正をすすめ、定数改善・持ち授業時間の縮減等、環境整備と教育条件整備に努めること。また、教職員不足がますます深刻化する中で、教職員が欠員とならないように対策を講じること。
4. 昨年度から実施された産休代替の前倒し配置を欠員なく継続して実施するとともに、適用外となっている高校・特別支援学校高等部も対象とすること。また、男性の育休取得の推進をはかること。

5. 誰もが生き生きと幸福で持続可能な地域社会を実現するための方策を打ち出すこと。
 - (1) 不登校が増加する昨今、子どもが安全に心を開き、守られる居場所をつくること。また、子どもたちが抱える生きにくさに対する専門性の高い相談機関や、専門の医師を地方でも増やすこと。
 - (2) LGBTQ の子どもたちへの配慮として、学校のトイレの個室化や制服選択の自由等、環境整備をすすめること。
 - (3) ヤングケアラーについて、実態把握をし、支援の輪を広げること。
 - (4) 学校で働く教職員のメンタルヘルス対策や労働時間管理等を含め、教職員が健康で働き続けることができる環境づくりを行うこと。
 - (5) 高齢化社会への対応策として、退職後の健康増進に関わる支援をすすめること。
6. 東日本大震災や能登半島地震等、災害時における復旧・復興に向けたボランティアをはじめとした各種支援が円滑にすすめられるよう取り組むこと。
7. これまで支援からこぼれ落ちてきた女性のためのセーフティネットを構築していく必要があることから、女性支援新法について、民間 NPO への支援を国として保障すること。